

研究チームの紹介コーナー

研究企画部
総務グループ

1 グループの紹介

総務グループは技術開発本部全体の総務、労務、経理、資材、広報、情報システム関係を総括しております。メンバーは、内山G長以下12名で構成されます。各研究所では幅広い分野の研究をしているため、損益予算執行、契約書の審査、実験棟の新設・改修などの各場面でいろいろ違った面をカバーしなければなりません。特に最近は廃棄物処理面から環境問題に取り組んでおります。



後列左から：山田、松原、太田、酒井、小久保、平出、石原（枠内）
前列左から：国立、山本、伊藤、市原、内山G長、大宅、小塚

2 ISO14001の構築に向けて

技術開発本部は、研究部門として環境マネジメントシステムの確立を目指し、平成15年2月に「ISO14001取得宣言」を行いました。総務Gは環境マネジメントシステム全般の事務局を担っています。

研究企画部 電力技術研究所およびエネルギー応用研究所が丸となって、EMSへの関心を高める活動や環境調査等の実施、環境マネジメント文書を策定しました。

平成16年4月1日、「技術開発本部環境方針」を策定し、環境マネジメントシステムの仮運用後平成16年度中に認証取得を目指しています。



3 情報の積極的発信

当グループは研究成果を積極的に情報発信するため、この技術開発ニュース発行の他、毎年秋に開催しているテクノフェアの



全体事務局、プレスリリースの総括、新聞雑誌への投稿窓口、ホームページ内容更新管理等の部署として活動しています。

また、研究成果を紹介するカタログ等の更新、講演会・展示会への出展など積極的なPR活動を考えています。

4 総労経資最近のトピックス

(1) 食堂メニューを一新する

研究員の旺盛な探求心を満たすことのできる食事提供を模索してきた結果、メニューバリエーションの豊富さからアラカルト方式を採用することとしました。

「低価格でより美味しく」

研究員は日々、頭のトレーニングとして、今日も美味しいランチチョイスを楽しんでいます。

(2) 人間関係に配慮しつつ「受動喫煙防止対策」を進める

「健康増進法」の施行(H15.5)に伴い、これまでの「分煙化」から「受動喫煙防止」へと発展的に職場環境の改善を図ってまいりました。喫煙する人としない人がお互いに相手を尊重し合える職場環境の形成を目指してまいります。

(3) 研究員を見つめるモニュメント

技術開発本部の本館前には3つのモニュメントがあります。

このモニュメントはトライアングルを組み、未来への長くて大きな道のりを幻想しながら、燃え尽きることのないエネルギーのように研究所の発展を念じて配置されております。



創造 メインテーマの作品であり、ロダンの「考える人」をモデュハイしたもので、研究所長が自らリーダーシップを取り、すばらしい未知の世界を提案しているところを表現。



協力 ロダンの「カレーの市民」をモデルに、所員が所長を助け新しい研究テーマに情熱を傾け、生々しく肉体をぶつけ、ばく進している姿を力強く群像として表現。



追求 多様化する先進技術を追って自ら日夜研鑽し、その成果をしっかりと胎内におさめ、満を持していつでも応じようとする所員の意欲的な姿を彫型に表現。

「創造」「協力」の一对は、当時の加藤副社長が藍綬褒章受章を記念して、昭和40年総合技術研究所完工時に寄贈されたものです。「追求」は同所初代所長福西取締役が黄綬褒章受章を記念して43年に寄贈されたものです。